

2012年度（平成25年3月期） 決算説明会

大日本住友製薬株式会社
代表取締役社長 多田 正世
2013年5月10日

2012年度 決算の概要

2012年度 経営成績

金額単位:億円

	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比		2012年度	
			増減額	増減率	業績予想 (10/31公表)	達成率
売上高	3,504	3,477	△ 27	△ 0.8 %	3,480	99.9 %
売上原価	989	1,017	28	2.9 %	1,000	101.7 %
売上総利益	2,515	2,460	△ 55	△ 2.2 %	2,480	99.2 %
販売費及び 一般管理費	2,311	2,210	△ 101	△ 4.4 %	2,200	100.5 %
販売費・一般管理費	1,742	1,612	△ 131	△ 7.5 %	1,608	100.2 %
研究開発費	569	598	30	5.2 %	592	101.1 %
営業利益	204	250	46	22.8 %	280	89.4 %
経常利益	189	245	56	29.8 %	270	90.8 %
特別損益	△ 25	△ 63	△ 38	—	△ 30	—
当期純利益	86	100	14	16.4 %	135	74.4 %

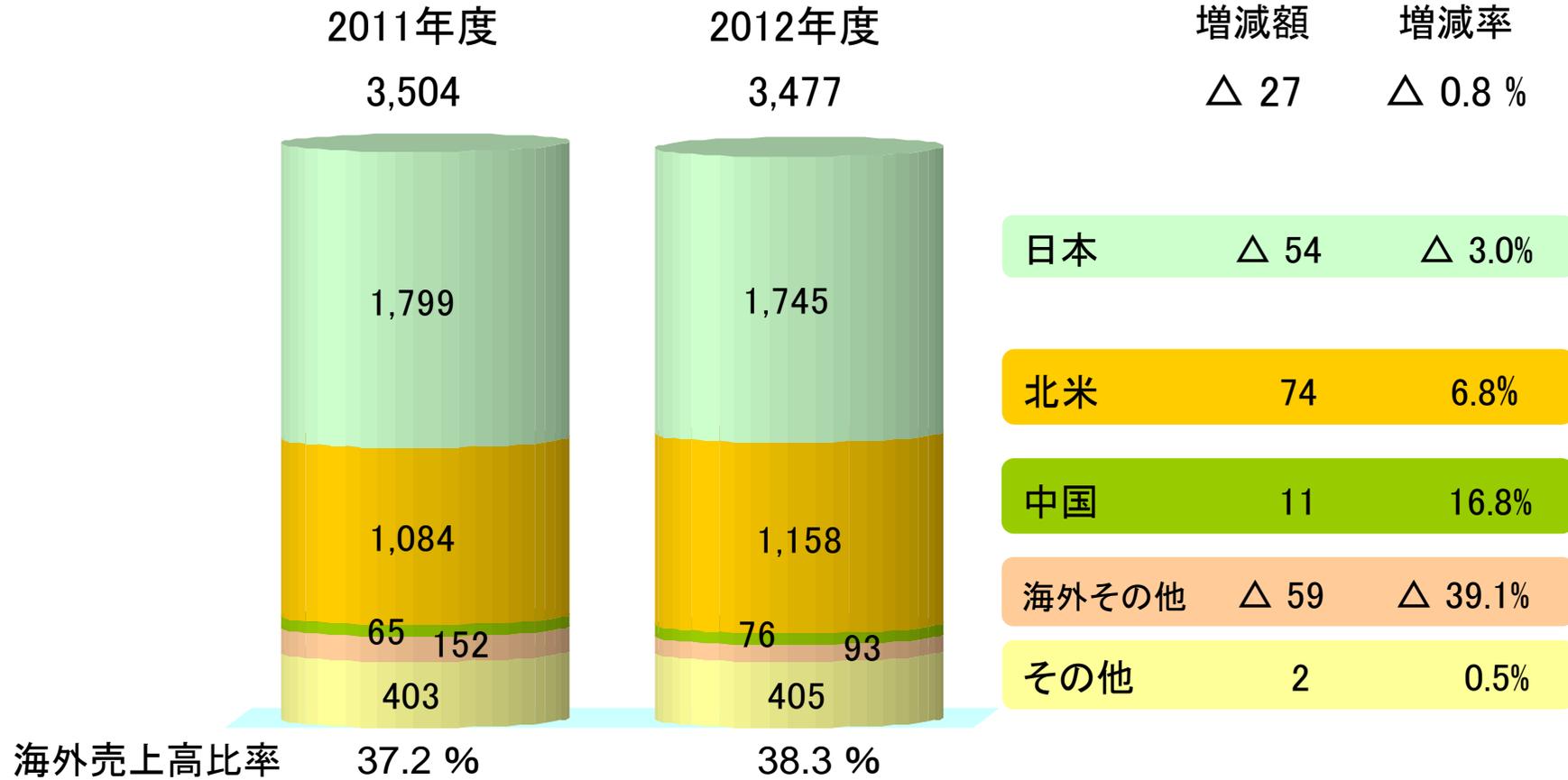
(注)1.記載金額は億円未満を四捨五入しております。

2.売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

3.為替レート 11年度実績:1\$=79.8円、1元=12.4円 12年度実績:1\$=79.8円、1元=12.7円

セグメント別売上高

金額単位: 億円



【日本】メトグルコ、アイミクス等が伸長したが、薬価改定の影響により微減収
 【北米】ゾペネックスが減少したがラツータの売上拡大やライセンス収入により増収
 【海外その他】メロペン輸出の減少等により減収

日本セグメントの品目別売上高

金額単位:億円

	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比		2012年度	
			増減額	増減率	売上予想 (10/31公表)	達成率
アイミクス	—	20	20	—	—	—
アバプロ	107	117	10	8.9 %	121	96.3 %
ロナセン	98	107	9	9.2 %	113	95.1 %
プロレナール	155	142	△ 13	△ 8.1 %	147	96.9 %
トレリーフ	53	70	17	31.8 %	72	97.6 %
戦略品 計	414	457	43	10.4 %	453	96.4 %
シュアポスト	1	7	6	781.9 %	10	67.7 %
ミリプラ	13	11	△ 2	△ 12.1 %	13	86.0 %
メトグルコ(メルビン含)	85	120	35	40.7 %	125	96.0 %
新製品 計	99	138	39	39.6 %	148	93.2 %
アムビゾーム	45	46	1	2.3 %	48	95.4 %
アムロジン	360	292	△ 68	△ 18.9 %	287	101.8 %
ガスモチン	212	195	△ 17	△ 8.0 %	200	97.4 %
メロペン	122	103	△ 19	△ 15.6 %	102	100.8 %
リプレガル	91	99	8	8.7 %	102	97.4 %
その他	456	415	△ 42	△ 9.1 %	427	97.1 %
合計	1,799	1,745	△ 54	△ 3.0 %	1,767	98.7 %

(注)1.品目別の売上高は、国内売上高をリベート控除前で記載しております
2.戦略品合計の達成率は、アイミクスを除いて計算しております

北米・中国セグメントの品目別売上高

	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額
北米セグメント	(百万ドル)			(億円)		
ラツーダ	86	202	116	69	161	92
ルネスタ	528	561	34	421	448	27
ゾペネックス	419	317	△ 102	334	253	△ 81
ブロバナ	127	160	32	102	127	26
アルベスコ	35	38	3	28	31	3
オムナリス	64	24	△ 41	51	19	△ 32
ゼトナ	—	5	5	—	4	4
工業所有権収入	72	98	26	58	78	20
その他	27	46	19	21	37	15
合計	1,359	1,451	92	1,084	1,158	74
中国セグメント	(百万元)			(億円)		
メロペン	447	494	47	55	63	7
その他	83	110	27	10	14	4
合計	529	603	74	65	76	11

北米セグメントの内訳

<特許権・のれんの償却費等を除く>

	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額
	(百万ドル)			(億円)		
売上高	1,359	1,451	92	1,084	1,158	74
売上原価	141	173	33	112	138	26
売上総利益	1,218	1,278	60	972	1,020	48
販売費・一般管理費	875	766	△ 109	698	611	△ 87
セグメント利益	343	513	169	274	409	135

<特許権・のれんの償却費等の影響>

	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額
	(百万ドル)			(億円)		
販売費・一般管理費	347	324	△ 23	277	259	△ 19
セグメント利益	△ 347	△ 324	23	△ 277	△ 259	19

セグメント別経営成績

金額単位：億円

		医薬品事業					合計	その他	連結
		日本	北米※1	償却費※2	中国	海外その他			
2012年度実績	売上高(外部顧客向け)	1,745	1,158	—	76	93	3,072	405	3,477
	売上原価	503	138	—	18	45	705	312	1,017
	売上総利益	1,244	1,020	—	58	47	2,370	90	2,460
	販売費・一般管理費	638	611	259	40	4	1,551	60	1,612
	セグメント利益	606	409	△ 259	18	43	819	30	849
	研究開発費						591	8	598
	営業利益						228	23	250
2011年度実績	売上高(外部顧客向け)	1,799	1,084	—	65	152	3,101	403	3,504
	売上原価	468	112	—	19	79	678	310	989
	売上総利益	1,333	972	—	46	73	2,424	91	2,515
	販売費・一般管理費	668	698	277	36	3	1,683	59	1,742
	セグメント利益	664	274	△ 277	10	70	741	32	773
	研究開発費						562	7	569
	営業利益						179	25	204
増減額	売上高(外部顧客向け)	△ 54	74	—	11	△ 59	△ 28	2	△ 27
	セグメント利益	△ 58	135	19	9	△ 27	78	△ 2	76
	研究開発費						29	0	30
	営業利益						49	△ 2	46

* 1. 特許権・のれんの償却費を除く

* 2. 特許権・のれんの償却費

【為替レート】

2011年実績： 1\$=79.8円 1元=12.4円

2012年実績： 1\$=79.8円 1元=12.7円

経常利益および当期純利益

金額単位：億円

	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
営業利益	204	250	46	22.8 %
営業外損益	△ 15	△ 5	10	
経常利益	189	245	56	29.8 %
特別損益	△ 25	△ 63	△ 38	
固定資産売却益	12	—	△ 12	
事業構造改善費用	△ 12	△ 48	△ 36	
訴訟関連損失	—	△ 11	△ 11	
減損損失	△ 23	△ 4	19	
投資有価証券評価損	△ 2	—	2	
法人税等	77	81	4	
当期純利益	86	100	14	16.4 %

【事業構造改善費用】米国子会社でのリストラ、国内の事業移管に伴う出向者の移籍
 【減損損失】仕掛研究開発の一部を減損損失

財政状態

金額単位：億円

	2012年3月末	2013年3月末	増減額
資産の部	5,594	6,072	478
流動資産	3,343	3,334	△ 8
固定資産	2,252	2,738	486
負債の部	2,402	2,580	178
流動負債	1,060	1,248	189
固定負債	1,342	1,331	△ 11
純資産の部	3,192	3,492	300

(自己資本比率)

57.1%

57.5%

【資産の部】

仕掛研究開発費の増加 +450億円

【負債の部】

有利子負債の減少 △130億円

買収に伴う条件付対価、繰延税金負債の増加 ... +215億円

【純資産の部】

為替換算調整勘定の改善 +210億円

キャッシュ・フロー

金額単位：億円

I 営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 499
・ 税金等調整前当期純利益	+ 182
・ 減価償却費	+ 351
・ 法人税等の支払額	△ 101
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 550
・ 有形・無形固定資産の取得による支出	△ 100
・ 新規連結・子会社株式取得による支出	△ 249
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 202
・ 長期借入金の純増減額	△ 130
・ 配当金の支払額	△ 72

現金及び現金同等物残高

714億円

(前期末比 △ 207億円)

2013年度 業績予想の概要

2013年度 業績予想の要約

日本・・・2012年度並のセグメント利益を確保

- ✓ 売上高: 戦略品・新製品の拡大で後発品影響による減少等をカバー
- ✓ 販管費: 効率的な使用、節減による削減

北米・・・売上高・セグメント利益とも減少(現地通貨ベース)

- ✓ 売上高: ラツータ・ブロバナ・ゼトナが増収、ゾペネックス・ルネスタ・工業所有権収入が減収
- ✓ 販管費: ラツータ(効能追加取得予定)は増加するが、構造改善により、ドルベースでは減少

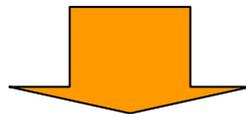
中国・・・売上・セグメント利益とも拡大

海外その他・・・メロペンの輸出は減少するが、工業所有権収入(一時金)により増加

その他事業・・・売上は増加するが、セグメント利益は微減

研究開発費・・・BBI社の開発費増に加え、円安の影響もあり増加

研究開発費の増加をセグメント利益の拡大で吸収



営業利益、当期純利益は増益

2013年度 業績予想

金額単位: 億円

	2012年度 実績	2013年度 業績予想	対前期比		
			増減額	うち 為替差	増減率
売上高	3,477	3,690	213	288	6.1%
売上原価	1,017	1,060	43	41	4.2%
売上総利益	2,460	2,630	170	247	6.9%
販売費及び 一般管理費	2,210	2,370	160	270	7.2%
販売費・一般管理費	1,612	1,700	88	199	5.5%
研究開発費	598	670	72	71	12.0%
営業利益	250	260	10	△ 23	3.8%
経常利益	245	250	5	/	2.0%
特別損益	△ 63	—	63		—
当期純利益	100	130	30		29.4%
E B I T D A	603	540	△ 63		△ 10.5%

(注) 1. 記載金額は億円未満を四捨五入しております。
2. EBITDA: 税金、利息、減価償却費、特別損益控除前利益

【為替レート】
2012年実績: 1\$=79.8円 1元=12.7円
2013年予想: 1\$=100.0円 1元=15.0円

2013年度 業績予想の内訳(セグメント別)

金額単位:億円

		医薬品事業					合計	その他	合計	
		日本	北米 *1	償却費 *2	中国	海外その他				
2013年度 予想	売上高(外部顧客向け)	1,737	1,258	—	105	156	3,256	434	3,690	
	売上原価	511	150	—	21	38	720	340	1,060	
	売上総利益	1,228	1,108	—	84	118	2,538	92	2,630	
	販売費・一般管理費	631	747	188	58	11	1,635	65	1,700	
	セグメント利益	597	361	△ 188	26	107	903	27	930	
	研究開発費							660	10	670
	営業利益							243	17	260

2012年度 実績	売上高(外部顧客向け)	1,745	1,158	—	76	93	3,072	405	3,477	
	売上原価	503	138	—	18	45	705	312	1,017	
	売上総利益	1,244	1,020	—	58	47	2,370	90	2,460	
	販売費・一般管理費	638	611	259	40	4	1,551	60	1,612	
	セグメント利益	606	409	△ 259	18	43	819	30	849	
	研究開発費							591	8	598
	営業利益							228	23	250

増減額	売上高(外部顧客向け)	△ 8	100	—	29	63	184	29	213	
	セグメント利益	△ 9	△ 48	71	8	64	84	△ 3	81	
	研究開発費							69	2	72
	営業利益							15	△ 6	10

- * 1. 特許権・のれんの償却費を除く
- * 2. 特許権・のれんの償却費

【為替レート】
 2012年実績 : 1\$=79.8円 1元=12.7円
 2013年予想 : 1\$=100.0円 1元=15.0円

日本セグメントの品目別売上高予想

金額単位:億円

	2012年度 実績	2013年度 予想	前期比	
			増減額	増減率
アイミクス	20	55	35	172.4%
アバプロ	117	121	4	3.8%
ロナセン	107	130	23	20.9%
トレリーフ	70	92	22	30.9%
戦略品 計	315	398	83	26.5%
メトグルコ	120	152	32	26.7%
シュアポスト	7	25	18	269.1%
新製品 計	127	177	50	39.6%
アムビゾーム	46	50	4	9.2%
ミリプラ	11	13	2	16.2%
リプレガル	99	105	6	5.7%
スペシャリティ製品 計	156	168	12	7.5%
アムロジン	292	254	△ 38	△13.0%
ガスモチン	195	163	△ 32	△16.4%
プロレナール	142	133	△ 9	△6.6%
メロペン	103	96	△ 7	△6.6%
その他	415	348	△ 67	△16.1%
合計	1,745	1,737	△ 8	△0.4%

(注) 品目別の売上高は、国内売上高をリベート控除前で記載しております

北米・中国セグメントの品目別売上高予想

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減額	2012年度 実績	2013年度 予想	増減額	
							うち 為替差
北米セグメント	(百万ドル)			(億円)			
ラソーダ	202	303	101	161	303	142	61
ルネスタ	561	465	△ 96	448	465	18	94
ゾペネックス	317	74	△ 243	253	74	△ 179	15
ブロバナ	160	198	38	127	198	70	40
アルベスコ	38	53	14	31	53	22	11
オムナリス	24	36	12	19	36	17	7
ゼトナ	5	58	53	4	58	54	12
工業所有権収入	98	27	△ 71	78	27	△ 51	5
その他	46	44	△ 2	36	44	7	9
合計	1,451	1,258	△ 193	1,158	1,258	100	254
中国セグメント	(百万元)			(億円)			
メロペン	494	561	67	63	84	22	13
その他	110	140	30	14	21	7	3
合計	604	701	97	76	105	29	16

北米セグメントの内訳

<特許権・のれんの償却費等を除く>

	2012年度	2013年度	増減額 対前年度	2012年度	2013年度	増減額	
	実績	予想		実績	予想	うち 為替差	
	(百万ドル)			(億円)			
売上高	1,451	1,258	△ 193	1,158	1,258	100	254
売上原価	173	150	△ 23	138	150	12	30
売上総利益	1,278	1,108	△ 170	1,020	1,108	88	224
販売費・一般管理費	766	747	△ 19	611	747	136	151
セグメント利益	513	361	△ 152	409	361	△ 48	73

<特許権・のれんの償却費等の影響>

	2012年度	2013年度	増減額 対前年度	2012年度	2013年度	増減額	
	実績	予想		実績	予想	うち 為替差	
	(百万ドル)			(億円)			
販売費・一般管理費	324	188	△ 136	259	188	△ 71	38
セグメント利益	△ 324	△ 188	136	△ 259	△ 188	71	△ 38

株主還元について

基本方針

- 将来の成長のための積極的な投資と内部留保とのバランスをとりつつ、業績に応じた適切な配分を実施
- 安定的な配当の継続にも配慮

配当推移

	11年度	12年度(予定)	13年度(予定)
1株当たり配当金(円)	18.00	18.00	18.00
連結配当性向(%)	82.9	71.2	55.0

〈参考〉

純資産配当率(%)	2.2	2.1	2.0
-----------	-----	-----	-----

2013年度の主な経営課題

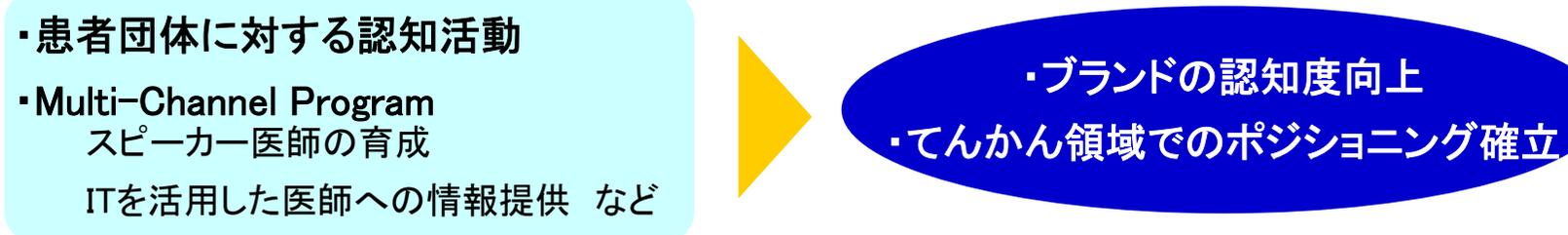
主要経営課題(北米事業)

2013年度に承認が期待される品目の早期市場浸透

- ラツータ: 双極 I 型障害うつ(適応拡大) 承認取得予定: 2013年度上期



- ステデサ 発売予定: 2013年度下期



主要経営課題(国内事業)

アイミクスの最速最大化

ハイブリッド・マーケティングを活用した最速最大化の土台作り

eプロモーションの活用

- ・MR君
- ・Web配信セミナー
- ・医療情報サイト(ホームページ)

+

リアルMRによるディテール

- ・「アムロジピン10mgを含む唯一の配合剤」を訴求
- ・「アムロジピンとイルベサルタンの組み合わせの良さ」を訴求

iPhone・iPadの活用

高血圧治療に必要な一剤としてのポジショニングを確立

循環器3剤(アイミクス+アバプロ+アムロジン)で実績維持

主要経営課題(がん分野)

BBI608の開発促進

米国・カナダ

- 結腸直腸がん (2nd/3rd line) (単剤) 第Ⅲ相試験開始(2013年1Q)

2015年度上市目標

その他の実施中の試験

- 結腸直腸がん (3rd/4th line) (併用) 第Ⅱ相試験実施中(2012年1Q開始)
- 固形がん (2nd/3rd line) (パクリタキセルとの併用) 第Ⅰ/Ⅱ相試験実施中(2011年2Q開始)

他がん種への適応拡大予定

日本

- 固形がん (単剤) 第Ⅰ相試験開始(2013年3月開始)
試験終了後に国際共同第Ⅲ相試験に組み入れ予定

2016年度上市目標

北米でのがんの販売体制の構築検討

- 営業のトップの採用および販売新会社設立の検討

継続的ながん治療薬の創出

- BBI503およびWT4869/2725の開発促進
- 新規がん治療薬の創製: BBI(米国)およびがん創薬研究所(日本)

事業基盤の強化～筋肉質な企業体質へ～

事業環境の変化に機動的に対応できる強固な事業運営体制の確立

経営効率の追求

- ・ 販管費の圧縮と資産効率の向上
- ・ 人員適正化
- ・ 拠点再配置の推進
- ・ 意思決定プロセスの効率化と業務執行のスピードアップ
- ・ 組織の簡素化

強い企業文化の確立

- ・ 新たな挑戦が奨励される企業文化の定着
- ・ メリハリのある人事評価制度の確立
- ・ グローバル人材のさらなる育成

⇒ **基盤強化プロジェクトの立上げ**

臨床開発の現況

臨床開発の現況① (2013年5月9日現在)

精神神経領域

■ 国内 ■ 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
ラツーダ (SM-13496)	ルラシドン塩酸塩	統合失調症	欧州 ※				
		統合失調症	オーストラリア				
		(新効能)双極Ⅰ型障害うつ	米国・カナダ				
		統合失調症	日本				
		(新効能)双極性障害メンテナンス	米国・欧州等				
		(新効能)大うつ(混合症状)	米国・欧州等				
ステデサ	エスリカルバゼピン酢酸塩	てんかん(併用)	米国				
		てんかん(成人単剤)	米国				
ロナセン	プロナンセリン	統合失調症	中国				
		(小児用量)統合失調症	日本				
		(新剤形:経皮吸収型製剤)統合失調症	日本				
SEP-225289	未定	注意欠陥多動性障害(ADHD)	米国				
DSP-8658	未定	アルツハイマー病	米国				
DSP-1053	未定	うつ病	米国				
DSP-2230	未定	神経障害性疼痛	英国				
SEP-363856	未定	統合失調症	米国				

今回変更部分は赤字で示しています

※ ルラシドンの欧州は武田薬品との共同開発

臨床開発の現況② (2013年5月9日現在)

がん領域

■ 国内 ■ 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
カルセド(国内販売名)	アムルビシン塩酸塩	小細胞肺がん	中国				
BBI 608	未定	結腸直腸がん (2nd/3rd line) (単剤)	米国・カナダ				
		結腸直腸がん (3rd/4th line) (併用)	米国・カナダ				
		固形がん (2nd/3rd line) (パクリタキセルとの併用)	米国・カナダ		※		
		固形がん (単剤)	日本				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群	日本		※		
		固形がん	日本				
WT2725	未定	固形がん、血液がん	米国				
BBI 503	未定	固形がん (単剤)	米国・カナダ				

※第 I / II 相の第 I 相段階

呼吸器領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
SUN-101	未定	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	米国				
DSP-3025	未定	気管支喘息、アレルギー性鼻炎	日本				

今回変更部分は赤字で示しています

臨床開発の現況③ (2013年5月9日現在)

■ 国内 ■ 海外

循環器・糖尿病領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
シュアポスト	レパグリニド	(新効能) 2型糖尿病: DPP-4阻害剤を含むすべての併用療法	日本	■	■	■	
メグルコ	メトホルミン塩酸塩	(小児用量追加) 2型糖尿病	日本	■	■	■	
AS-3201	ラニレスタット	糖尿病合併症	日本	■	■	■	
DSP-8658	未定	2型糖尿病	米国	■			

その他の領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
メロペン	メロペネム水和物 meropenem hydrate	(用量変更) 化膿性髄膜炎: 1日6g	日本	■	■	■	
DSP-1747	obeticholic acid	非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)	日本	■	■		
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本	■	■		
DSP-5990	セフトロリン・フォサミル	MRSA感染症	日本	■			

臨床開発 進捗状況 (2013年1月31日からの主な変更点)

シュアポスト(新効能):

- 日本でビグアナイド系薬剤/チアゾリジン系薬剤との併用療法について承認を取得 (2013年2月承認取得)

ステデサ

- 米国で再申請(2013年2月)

ルラシドン塩酸塩(SM-13496)

- オーストラリアで申請(2013年3月)

BBI608

- 日本で第 I 相に新規掲載(2013年3月に国内の第 I 相試験を開始)

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況①

米国(統合失調症)

継続中の主な試験

- メンテナンス試験: 2011年3Q開始、実施中
- 小児(6-17歳)対象のPK試験: 2012年2Q開始、実施中

計画中の試験

- 20mg/日の低用量試験: 2013年2Q開始予定
- 小児(6-17歳)対象の有効性試験: 2013年3Q開始予定

米国(双極性障害 他)

双極 I 型障害うつ 第Ⅲ相試験(PREVAIL試験)

- 米国・カナダで双極 I 型障害うつの効能追加を申請(2012年8月申請)
- PREVAIL#3: プラセボ対照試験- 併用療法(リチウム/バルプロ酸に追加投与)
2013年3月完了

双極性障害メンテナンス

- 2011年2Qに第Ⅲ相試験を開始

大うつ(混合症状)

- 2011年2Qに第Ⅲ相試験を開始

IMデポ剤

- 非臨床段階

今回変更部分は赤字で示しています

LATUDA®(ルラシドン) 開発進捗状況②

米国以外

- 日本： 統合失調症/第Ⅲ相試験実施中(2012年4月開始)
- カナダ： 統合失調症/発売(2012年9月発売)
双極Ⅰ型障害うつとの効能追加を申請(2012年8月申請)
- 中国： 統合失調症/IND(治験届け)提出(2011年9月)
- 欧州： 統合失調症/武田薬品が申請中
 - ・スイス(2012年3月申請)
 - ・中央承認審査方式による申請(2012年9月申請)双極性障害/武田薬品と共同開発実施中(第Ⅲ相試験段階)
英国は自社展開を検討
- オーストラリア： 統合失調症/申請中 (2013年3月申請)

新規事業分野(細胞医薬・再生医療領域)のアップデート

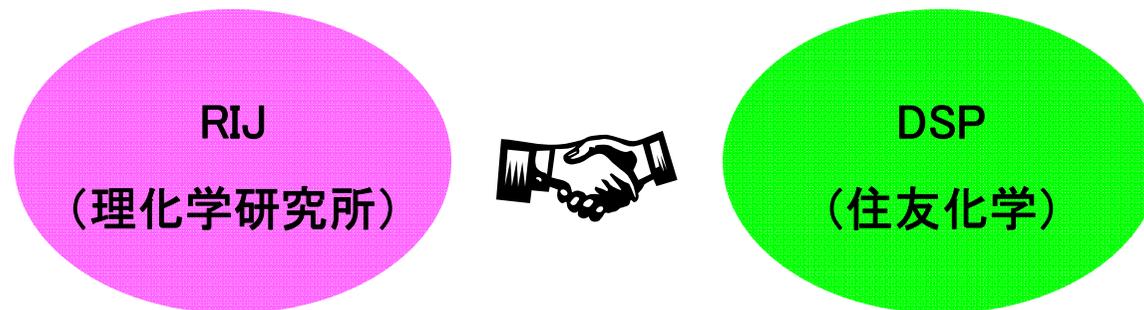
■ 日本網膜研究所(RIJ)との資本提携(2013年3月)

合意内容

- 網膜疾患を適応症としたiPS細胞技術の実用化に関する国内外における連携に向けて、今後、RIJと独占的に協議を行う
 - 加齢黄斑変性を中心とし、実用化に必要な共同開発、製造、販売などの広範な範囲を対象とする

提携の狙い

- 細胞医薬／再生医療の事業化に向けて取り組みを本格化する



- 研究本部内に細胞医薬の専門チーム立ち上げ(2013年4月)
- サンバイオ社が開発中の脳梗塞治療の細胞医薬品
2013年度中にオプション権行使の予定

新規提携化合物の紹介：EPI-743、EPI-589

- 導入元：Edison Pharmaceuticals, Inc
- ライセンス：独占的研究開発販売権
- 許諾適応症：全適応症（最初の開発適応症はリー脳症）
- 許諾地域：日本
- 薬理的機序：ミトコンドリアの機能低下により発生する酸化ストレスの除去
- 海外開発段階（Edison社が実施）：
 - － EPI-743：リー脳症等の疾患でPh2b試験を実施中
 - － EPI-589：前臨床試験実施中
- 特徴：
 - － 有効な治療薬の存在しない重篤な疾患である
リー脳症をはじめとするミトコンドリア病に
対する世界初の治療薬として期待される
 - － 酸化ストレスに起因する精神神経疾患等への
適応が期待される

適応拡大の可能性



将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。